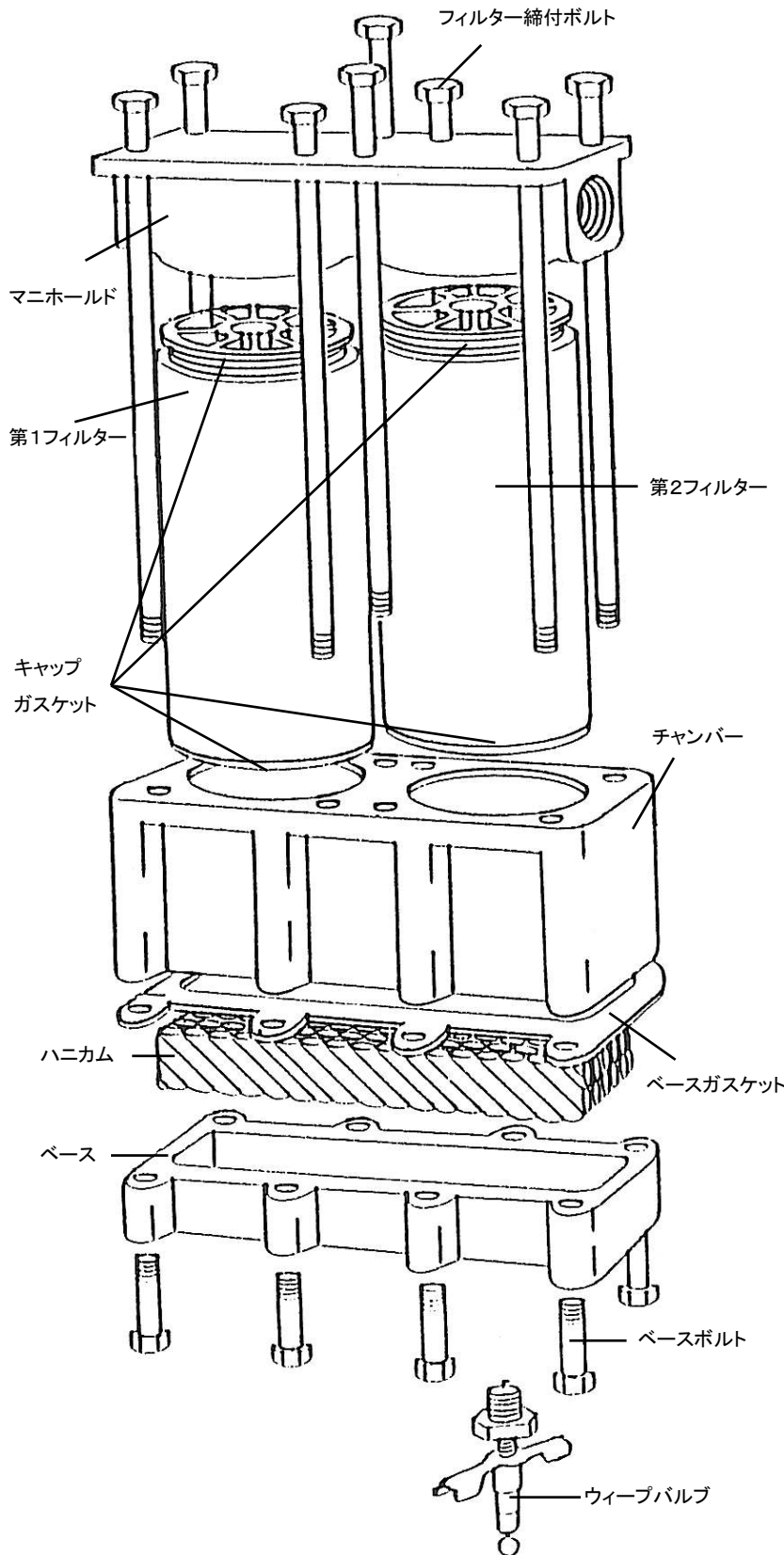


レマン・ドライフィルター

M-140-5 M-160-5

2008.4.1

M-140-AB-5 M-160-AB-5



フィルターエレメント交換時期及び手順

●交換時期

第1フィルターは、1年に1度交換、または洗浄してください。

第2フィルターは、4～6ヶ月(1000時間)で交換してください。(圧力降下が0.07MPa以上になった場合や、フィルター通過後も湿気が認められる場合は、第2フィルターの交換が必要です)

カートリッジには取付日、次回交換日が記入できるシールが貼ってあります。カートリッジを取り替える際は必ずその日付を記入して下さい。

●交換手順

フィルター交換はユニットを取り外す必要はありません。

①コンプレッサーの圧力を0MPaにしてユニットに圧がかからないようにして下さい。

②締め付けボルト8本をフィルターが取り外せるようになるまで緩めて下さい。

③手前のコーナーボルトを外し、抜き取って下さい。

④交換する両方の古いカートリッジを取り外して下さい。

⑤第2フィルターだけ交換する場合は古いキャップガスケットを新しい第2フィルターの下にはめ、取り外したキャップガスケットを第1フィルターの下にはめて下さい。(第1フィルターのキャップガスケットを上下そのまま使用しますと古くなったキャップガスケットは長く圧縮されて弾力性が失われていて、高さが異なり、エアー漏れを起こすおそれがあります。)

⑥フィルターを取り付け、③で外したボルトを取り付けて下さい。

⑦フィルターがマニホールドの穴の中央にくるように調整して下さい。フィルターに貼っていますラベルが前面にくるように調整して下さい。

⑧中央のボルトを締め付け、次に4本のコーナーボルトを対角線の順に締め付けて下さい。締め付けは一度に行わずに数回に分けて徐々に行ってください。各ボルトは同じトルクで締め付けて下さい。

⑨最後に全てのボルトが締め付けられていることを確認して下さい。

＜ご注意＞

・接続口のすぐ上にINとOUTの表示がしてあります。INをコンプレッサー側、OUTをエアー機器側に接続して下さい。

・必ず本体を垂直にセットしてご使用下さい。(横向きには取り付けないで下さい)

●ウィーブバルブの取扱方法

ドライフィルターの底についているウィーブバルブは、通常は右に一杯回した状態でご使用下さい。最適の量のエアーが排出されます。そのエアーと共に、水分、油分、不純物は常時ユニットから排出されます。このバルブはホースが取り付けられるような構造になっています。下部の竹の子状の所にホースを差し込んで、排出されるドレンをタンクや空き缶等に導くことができます。

ドレンの量が多い場所では、このバルブを最高1/4回転、左に回し調整して下さい。特に油分の多い場所、粘度が高いためドレンがスムーズに排出されない時があります。そういう時はなる部を必ず調整してご使用下さい。(ドレンが霧状に出る時は左に回しすぎです。)

ウィーブバルブの先についているピンはバルブが詰まったカーボン、サビ等の不純物を掃除するためについています。通常はバルブから少量のエアーが排出されていますが、不純物が詰まりますとエアーが排出されず、従ってドレンも自動的に排出されなくなります。エアーが出なくなった時は、必ずこのピンを上下に動かし掃除をして下さい。

株式会社 前田 シェル サービス

〒444-3595 愛知県岡崎市池金町字金山76-4

TEL(0564)48-2411(代表) FAX(0564)48-6252

フリーダイヤル 0120-312158

東京営業所 TEL(044)755-2123 FAX(044)755-4455

大阪営業所 TEL(06)6308-6171 FAX(06)6308-6172

滋賀営業所 TEL(077)553-3913 FAX(077)553-3923

西日本営業所 TEL(082)924-8881 FAX(082)924-8882

※ M-140-5
M-160-5
M-140-AB-5
M-160-AB-5 } 用〇〇〇(部品名)としてご注文ください。